

成果報告書

湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワーク基金」

総合政策学部1年 柏野尊徳

1. 活動の概要

名称：効果的なシリアスゲーム普及方法に関する学習・交流会

開催地：SFCキャンパス、SAP 渋谷、株式会社 Pepto One Nutrition 会議室、横浜市新吉田第二小学校 放課後キッズクラブ（運営法人：特定非営利活動法人教育支援協会）

開催日時：2011年4月21日～7月20日

2. 目的

今回取り扱うシリアスゲームは、2010 年度春学期「環境情報学の創造」にて開発された UNO ベースのカードゲーム「ちきゅ UNO」である。「ちきゅ UNO」は主に小学1年生前後を対象とした地理学習ツールであり、世界の国名や国旗、国際関係を学べる仕組みとなっている。これまで成蹊小学校や2010年 ORF、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科主催の第7回ワークショップコレクション等で普及活動を行い、累計670名以上の小学生及びその保護者が「ちきゅ UNO」を体験した。また、Webサイトで公開しているカードデータダウンロード数は80件を超えている。今回は、より自主的な形でシリアスゲームに関する交流会（ワークショップ）を実施することで、シリアスゲーム普及にはいかなる要素が必要かを明らかにしたい。

3. 参加者

総合政策学部	柏野尊徳
総合政策学部	西久保有里
総合政策学部	佐藤千晴
総合政策学部	中野えみり
環境情報学部	吉中貴史
環境情報学部	瀬下翔太
環境情報学部	太田友也
環境情報学部	木村優作
環境情報学部	船柳孝明
環境情報学部	池澤彩野花
環境情報学部	杉浦岳
環境情報学部	増田凜子

4. 開催概要

継続的に会議を重ねながら、効果的な普及方法を検証するための一環として、被災地や横浜市の小学校でワークショップ開催を行った。その他にも、ゲームデザインの勉強会、シリアスゲーム利用者へのインタビューも行った。

5. イベント概要

ここでは、今後のシリアスゲーム普及に関して貴重な手がかりを得られた横浜市小学校でのイベントを取り上げる。

日時：6月2日（木）15時～17時

場所：横浜市立新吉田第二小学校

参加人数：43人

プログラム：

1. オリエンテーション（10～20分）
2. カードゲーム大会（40～50分）
3. 表彰式（10～20分）

6. 振り返り

本基金で助成頂いたことにより、学習会のみにとどまらず、議論して生まれた普及方法を実践するために現地の小学校と協働でワークショップを開催することができた。今回の活動を通じて、シリアスゲーム普及の際には最低限以下の5項目を考える必要があると明らかになった。

- ・ どのような目的で作られたシリアスゲームであり、適切な広報文句は何か
- ・ その目的を考えた際、主にどのような対象にそのシリアスゲームを利用してもらうか
- ・ その対象者はどのような場所で日頃学習を行っているか
- ・ 対象者にとって、公教育で同内容を学ぶ以外にどのような価値を提供できるか
- ・ 開発側は、シリアスゲーム普及を通じてどのような成果を手にしたいか

7. 今後の予定

今後は、今回の活動で明らかになったシリアスゲーム普及に重要と思われる各項目を、より掘り下げる形でワークショップや利用者インタビューを行う。得られたフィードバックを元にシリアスゲーム改良を行い、より学習現場に身近なゲーム開発を実践していきたい。



〈写真左：ワークショップ開催の様子〉



〈写真右：参加者の感想〉